

40 古典的都市問題の発生——都市政策の必要性

2006/6/17

1 エンゲルス《イギリス労働者階級の状態》(845)

- 1) 労働者住宅の調査
- 2) 住宅地の汚濁と過密
- 3) ロンドン セント・ジャイルス貧民街(rookery)p68
チャールズ・ストリート、キングストリート、パークストリート p71
ブルズ・プレイス p74
- 4) ダブリン バラックストリート p80
- 5) エディンバラ オールドチャーチ リー説教師 p81
- 7) リヴァプール p85
- 8) グラスゴウ サイモンズ p88
- 9) マンチェスター p97

2 報告の結論

- 1) 繁栄の裏の汚濁
- 2) 社会的な暴力 資本家の横暴、私利独占

3 産業革命と社会変動

- 1) プロレタリアートの発生 労働以外に売るものはない 都市居住
- 2) 大量エネルギー消費 環境汚染
- 3) グロバリゼーション

4 都市問題の発生

- 1) 最大の資本効率 外部不経済の発生
- 2) 生産偏重 居住・生活の軽視
- 3) 集積の利益 密集・過密
- 4) スラム 貧民、細民
- 5) 社会生活への公的介入の制限 レッセ・フェール

5 都市問題の様相(1)——住宅問題

- 1) 貸家資本の発生 都市内の労働者住宅の提供
- 2) 劣悪な住宅 地下居住 日照ゼロ住宅
- 3) 狭小・過密 一部層住宅
- 4) 高家賃

6 都市問題の様相(2)——公衆衛生・社会病理

- 1) 不潔、汚水、
- 2) トイレ・疫病
- 3) 不道徳、売春、暴力
- 4) 都市全体への波及



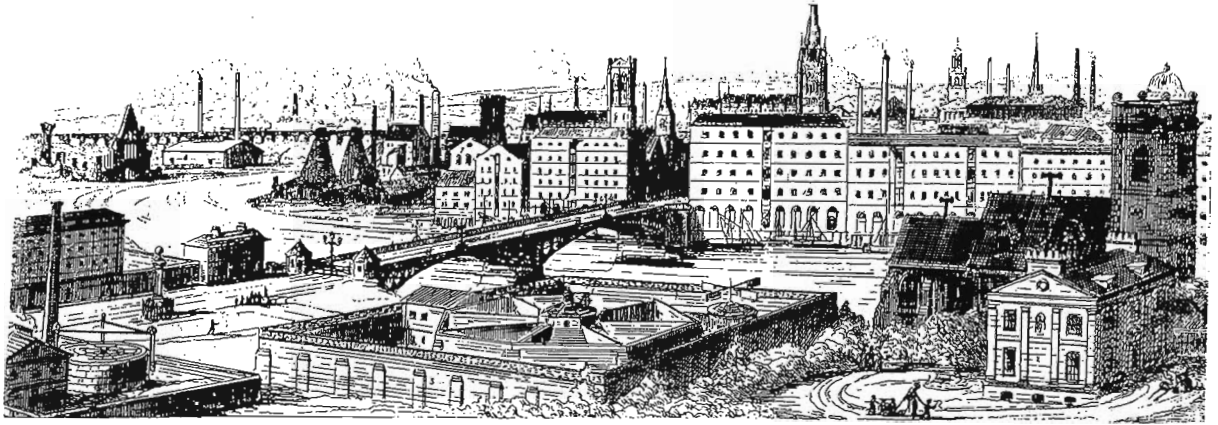
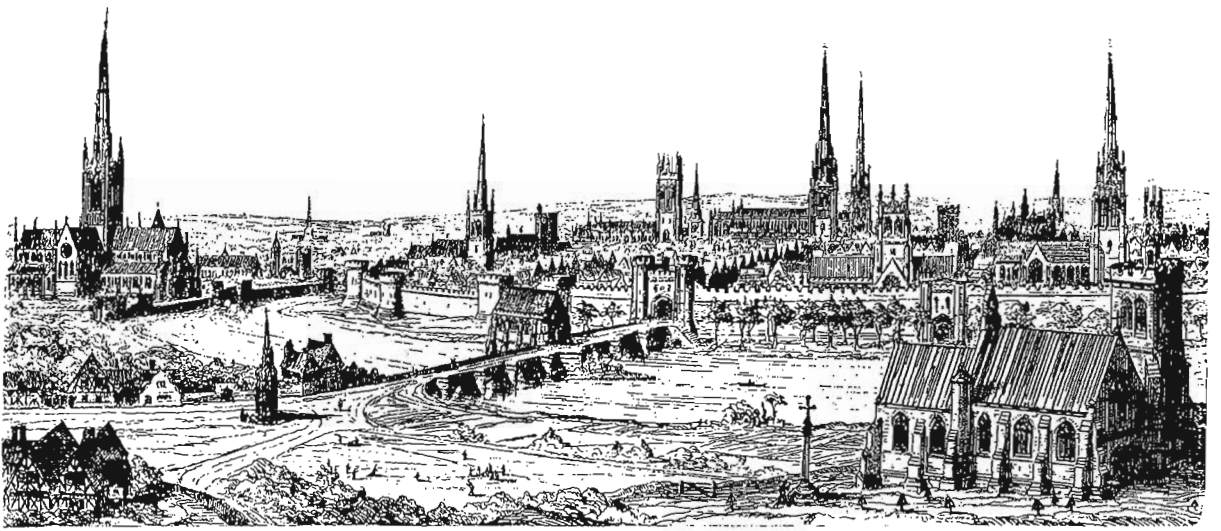


図 1072-1073 「1440年と1840年におけるある宗教都市の状況」。共にビュージンの版画。

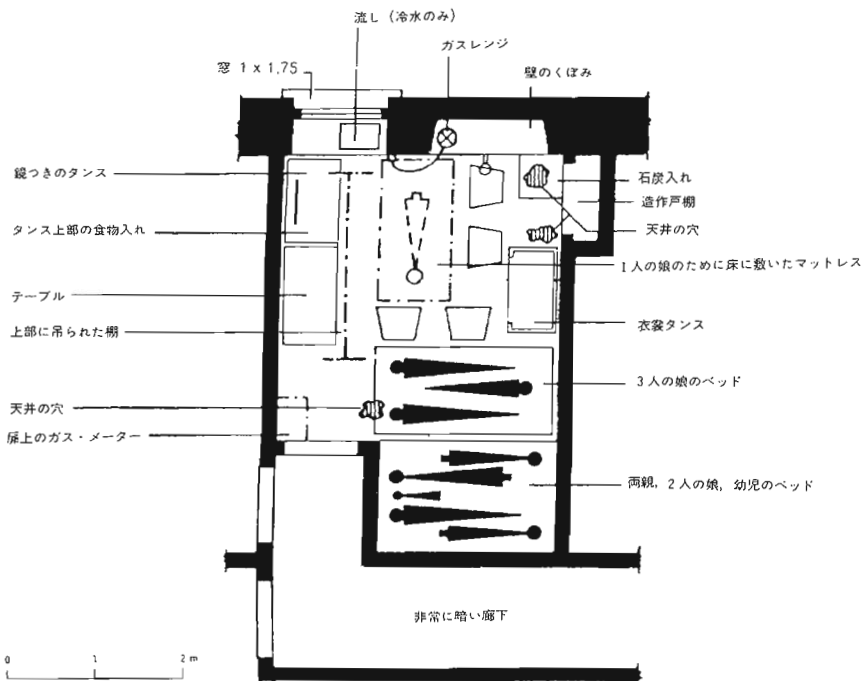


図 1075 ある9人家族の労働者の住居。1948年グラスゴーで指摘されたもの。